

平成 22 年 3 月 31 日

報道各位

ニューホライズン キャピタル株式会社

ハウステック、中国、中東で浄化槽技術を提供へ  
～海外における水の環境事業を本格展開～

投資ファンド運営のニューホライズン キャピタル株式会社（本社 東京都港区西新橋、取締役会長兼社長 安東 泰志、以下「NHC」）が再生を進めてきた株式会社ハウステック（本社 東京都板橋区、代表取締役社長 星田 慎太郎）は、本日までに、中国（鄭州新和華貿科有限公司、河南省新雅環保設備工程設計有限公司）並びにサウジアラビアの有力事業会社との間で「浄化槽」の製造、販売、サービスに関するフィージビリティースタディーを実施するための覚書の締結を行なう方針を固めましたのでお知らせします。更に、欧州においても商用化に向けての調査を進めております。ハウステックが有する浄化槽技術水準の高さと品質の良さ、水の再利用のノウハウ、40 年を超える維持管理の蓄積が、海外の有望市場において続々と認められたことは、ハウステックの今後の経営戦略に大きな弾みになるものと予想されます。

平成 19 年に日立化成工業株式会社から株式を取得しハウステックの再生を進めてきた NHC は、当初から同社が誇る浄化槽を軸とした水処理ビジネスを、住宅・商業施設への長期的環境配慮を意識したサービス事業の拡大と並ぶ今後の成長戦略の要として位置づけ、海外市場の開拓に邁進して参りました。

今回の事案は、近代化を目指して生活用水の処理並びに再利用などの環境整備に熱心な中国および中東の地方自治体等に同社の浄化槽関連技術を提供するプロジェクトになります。このような地元に着目した実績を積み重ねることにより、水資源のインフラ整備と環境共生型都市化を目指す中国並びに中東の全域に広がっていく可能性を睨んで現地パートナーと共同事業化しようというものです。

ハウステックは、NHC の協力の下で急速に経営の改善が図られ、現在の困難な環境下、平成 21 年度決算は前年に続いて経常黒字決算となる見通しにあり、収益は安定しています。今後海外の事業展開の進展等、成長戦略を軌道に乗せ、中長期的な戦略目標である株式公開に向け弾みをつけていきたい考えです。

浄化槽について：家庭や公共施設等から出る生活雑排水の処理において、下水道は都市型の集中処理であり、住宅が散在している地域、地形の複雑な地域などでは、コスト高の点から普及していません。分散処理が可能な浄化槽は日本発の技術であり、低コストで、汚濁物質の除去能力や再利用について高い能力を備えており、新興市場における土壌汚染対策や水不足対策として大きなニーズがあります。

本件に関する問い合わせ先：

今泉（広報 IFC、電話：03-5532-8058、メールアドレス：[pr@newhorizon.jp](mailto:pr@newhorizon.jp)）